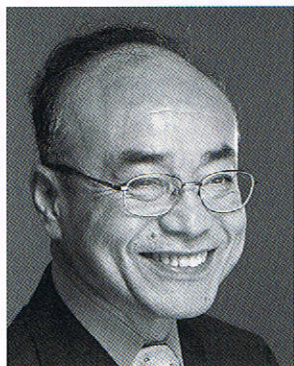


## 挨拶文

静岡県人権・地域改善推進會會長 天野 一

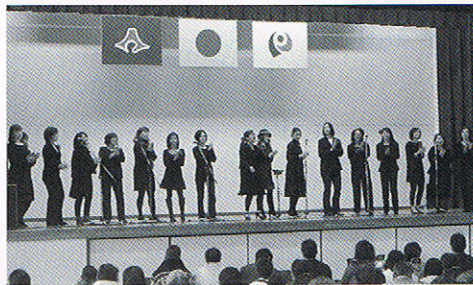


静岡県人権・地域改善推進會は人権が尊重され差別のない明るい社会の実現を期して発足し、今年17年目を迎えました。女性、子ども、高齢者、障がい者、同和、外国人、感染症患者、犯罪被害者その他多くの人権問題の解消と人権を暮らしの中の一つの文化として築き上げていく社会の実現をめざして努力を重ねております。

私たちがよりよい社会をめざし、また個人が自己の生き方や価値観の多様性を求めていけば、様々な人権課題に遭遇していきます。しかしながら、個人の様々な生き方が容認される社会こそが、豊かな社会の指針でもあるのです。

私は「無関心の壁」と表現していますが、人権問題が生まれる原因の一つに「自分には関係のないこと」「他人事」という、無頓着・無関心でいることが挙げられます。無関心は、被害者の救済も加害者の追及もせず、差別を放置したままにしてしまいます。

人権に関心を持ち、お互い学びあうことは、さまざまな人権問題の解決につながるとともに、だれもが尊重される社会にもつながっていきます。私たちはその一環として、難しく考えがちな人権を音楽や芸能（猿まわし）を通して身近な親しみやすいものとしています。一人一人が人権に対する理解を深め、偏見や差別に直面している人々の思いや願いを知る気づきの第一歩となることを心から期待しています。



## 浜商 OBOG 吹奏楽団

### 「同窓生の絆で永遠の浜商サウンド、音楽を通してたくさんの人と交流」

今秋、創立10年目を迎えた浜商 OBOG 吹奏楽団。

母校・浜松商業高校吹奏楽部の創部は昭和29年。現在も同吹奏楽部現役高校生は地域屈指の実力で演奏をしています。その出身者だけで構成される吹奏楽団です。同窓生だけで常時演奏活動をしている楽団は全国でも少なく、母校を誇りに感じております。楽団メンバーの中には在学当時、全国コンクールで日本一を経験した者や、プロ楽器奏者、指導者など活躍する者も多数在籍。また久しぶりに楽器を手にするメンバーなど、レベルや年齢にとらわれず、心から音楽を楽しむ楽団です。演奏を聴いていただく方に楽しんでいただき、音楽を通してたくさんの方と交流できることをメンバー一同、感謝しております。年間20回あまりの演奏をさせていただいており、毎年3月に開催する「スプリングコンサート」も次回9回目となります。毎年、現役生を交えての合同演奏は150名を越え、大迫力の浜商サウンドを奏でます。是非、皆様も機会がありましたら、浜商一色に染まるサウンドをお聞きいただけたらと思います。

